

人間健康学部 健康栄養学科							
氏名	曾我部 夏子	職名	教授	専攻分野	栄養学	学位名	博士 (学術)
主要業績 (著書・研究論文併せて5点以内)							
(研究論文)							
<p><u>Sogabe N</u>, Mizoi L, Asahi K, Ezawa I, Goseki-Sone M. “Enhancement by lactose of intestinal alkaline phosphatase expression in rats ” <i>Bone</i> 35:249-255 2004年 (共著)</p>							
<p><u>Sogabe N</u>, Tsugawa N, Maruyama R, Kamao M, Kinoshita H, Okano T, Hosoi T, Goseki-Sone M “Nutritional effects of gamma-glutamyl carboxylase gene polymorphism on the correlation between the vitamin K status and gamma-carboxylation of osteocalcin in young males ” <i>Journal of Nutritional Science and Vitaminology</i> 53: 419-425. 2007年 (共著)</p>							
<p><u>Sogabe N</u>, Maruyama R, Baba O, Hosoi T, Goseki-Sone M. “Effects of long-term vitamin K(1) (phylloquinone) or vitamin K(2) (menaquinone-4) supplementation on body composition and serum parameters in rats.” <i>Bone</i> 48 : 1036 - 1042 2011年 (共著)</p>							
<p><u>Sogabe N</u>, Tanabe R, Haraikawa M, Maruoka Y, Orimo H, Hosoi T, Goseki-Sone M Associations between serum bone-specific alkaline phosphatase activity, and biochemical parameters, and functional polymorphisms of the tissue-nonspecific alkaline phosphatase gene in a Japanese population <i>Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition</i> 22 : 160-165 2013年 (共著)</p>							
<p><u>Sogabe N</u>, Sawada SS, Lee IM, Kawakami R, Ishikawa-Takata K, Nakata Y, Mitomi M, Noguchi J, Tsukamoto K, Miyachi M, Blair SN. Weight change after 20 years of age and the incidence of dyslipidemia: a cohort study of Japanese male workers. <i>J Public Health (Oxf)</i>. pii: fdv089. 2015年 (共著)</p>							
最近5年間の業績 (2018年度～2022年度)							
【研究論文】							
<p><u>曾我部夏子(連絡責任者)</u>、岡田昌己、山本菜月、篠原能子、西山一朗 地域の食育イベント参加者における体型の自己評価と野菜摂取状況との関連 日本食育学会誌 12 : 27-32 2018年 (共著)</p>							
<p>岡田昌己、<u>曾我部夏子(連絡責任者)</u>、田邊解、高田安希子、山本菜月、宮本雄基、西村一弘 女子サッカー観戦者に対する食育活動の試み 日本食育学会誌 13:143-146 2019年 (共著)</p>							
<p>岡田昌己、<u>曾我部夏子(連絡責任者)</u>、高田安希子、山本菜月、西村一弘、田邊解 女子サッカートップチーム選手と育成選手におけるコンディショニングおよび食生活に対する意識の比較 日本食育学会誌 13:311-320 2019年 (共著)</p>							
<p>岡田昌己、山本菜月、<u>曾我部夏子</u> 野菜の栄養に関するクイズスタンプラリーに参加した子どもの野菜摂取に関する調査 駒沢女子大学研究紀要 人間健康学部・看護学部編 2:37-44 2019年 (共著)</p>							

岡田昌己、曾我部夏子(連絡責任者)、田邊解、高田安希子、宮本雄基、西村一弘
女子サッカー選手の食生活に対する意識調査 日本栄養士会雑誌 63:35-40 2020年 (共著)

岡田昌己、曾我部夏子、田邊解、高田安希子、宮本雄基、山本菜月、西村一弘
女子サッカー選手の白飯、おかず摂取に対する意識調査
駒沢女子大学研究紀要 人間健康学部・看護学部編 3:11-17 2020年 (共著)

曾我部夏子、岡田昌己、小澤多賀子
女子サッカー観戦者のコンディション管理に関する意識調査
駒沢女子大学研究紀要 人間健康学部・看護学部編 4:35-38 2021年 (共著)

小澤多賀子、岡田昌己、曾我部夏子
女子中高生アスリートにおけるヘルスリテラシーと食生活の意識および体調に関する調査
駒沢女子大学研究紀要 29:11-18 2022年 (共著)

【報告書等】

多摩市 食生活意識調査報告書 調査結果の解析, 総括の執筆を担当 2023年2月

【学会発表】

「キウイフルーツの摂取が女子エリートアスリートの免疫力に及ぼす影響」
第73回 日本体力医学会 (於: 福井) 2018年 (共同)

「女子サッカー選手におけるコンディショニングと食生活の意識」
第6回 日本食育学会 (於: 東京) 2018年 (共同)

女子中高生エリートサッカー選手に対する食育が食意識に及ぼす影響
第66回 日本栄養改善学会学術総会 (於: 富山) 2019年 (共同)

キウイフルーツの摂取がトップレベルの女子サッカー選手の免疫力と易感染性に及ぼす影響
第30回 日本臨床スポーツ医学会学術集会 2019年 (共同)

成長期女子アスリートへのお弁当提供を利用した食育活動
第10回日本食育学会大会 (於: オンライン)

Relationship between Female Senior High School Baseball Members' Somatotype Recognition and Food Awareness" The 8th Asian Congress of Dietetics (於: 横浜) 2022年 (共同)

成長期の女子トップアスリートにおける食生活に関する情報収集についての調査
日本スポーツ栄養学会 第8回大会 (於: 神奈川およびオンデマンド) 2022年 (共同)

【その他】

社会保険出版社リーフレット「かんたん! 健康食生活 改訂版」 監修 2020年 3月

〃 「上手に減塩しよう!」 監修 2020年 3月

〃 「生活習慣見直しサポートシリーズ 野菜の上手なとり方」 監修 2020年 6月

〃 「生活習慣見直しサポートシリーズ 適正飲酒ガイド」 監修 2020年 6月

〃 「生活習慣見直しサポートシリーズ コンビニ・スーパーのエネルギーダウン」 監修 2021年 9月

〃 「生活習慣見直しサポートシリーズ 外食時のエネルギーダウン」 監修 2022年 1月

〃 「1日に160kcal以上減らそう! コンビニ・スーパー編」 監修 2022年 12月

社会保険出版社パンフレット「体重 - 2kg・腹囲 - 2cm応援ガイド」 監修 2021年 2月

〃 「目指せマイナス2kg・マイナス2cm 体重・腹囲ダブルで改善ナビ」 監修 2022年 9月

社会保険出版社季刊誌「春のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 血圧を下げる」監修 2021年3月
// 「夏のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 血糖値を上げ過ぎない」監修 2021年6月
// 「秋のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 肝機能を守る」監修 2021年8月
// 「冬のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 腎機能を守る」監修 2021年11月
// 「春のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 肥満を予防する」監修 2022年3月
// 「夏のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 脂質異常を食い止める」監修 2022年6月
// 「秋のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 尿酸値が気になりだしたら」監修 2022年8月
// 「冬のけんこう」記事「生活習慣改善はじめの一步 貧血が気になりだしたら」監修 2022年11月
// 「春のけんこう」記事「目指せ-2cm, -2kg 生活改善クリニック 高血圧編」監修 2023年3月

【学会等および社会における主な活動】

多摩市食育ネットワーク推進連絡協議会 委員 2014年～

日本食育学会 編集委員 2015年5月～

千葉県印旛健康福祉センター（印旛保健所）講演会

「給食と運動させた子ども・家庭への食育の進め方」講師 2021年2月